



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場会社名 バークチャレクス・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6193 URL <http://www.vx-holdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 栄樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 黒田 勝 TEL 03-3578-5300
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	4,350	△3.5	△281	—	△278	—	△535	—
2019年3月期第3四半期	4,507	11.7	△3	—	△10	—	△25	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △535百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △24百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△184.98	—
2019年3月期第3四半期	△8.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,350	423	18.0
2019年3月期	2,764	988	35.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 423百万円 2019年3月期 988百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	△2.9	△200	—	△200	—	△460	—	△159.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	2,942,653株	2019年3月期	2,941,153株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	64,500株	2019年3月期	27,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	2,896,206株	2019年3月期3Q	2,939,486株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益と雇用・所得環境の改善を背景に、消費税率引き上げに伴う消費マインドの動向に留意する必要があるものの、緩やかな回復基調が続きました。一方、世界経済は、通商問題の動向が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等により依然として景気の先行きには不透明感が払拭できない状況が続いています。

このような状況の下、当社グループはテクノロジーを基盤として、バーチャレクス・コンサルティング株式会社はCRMをビジネスのドメインに、株式会社タイムインターメディアはWeb、文教・教育、AIなどをビジネスのフィールドとして、当社グループの持つコンサルティング、IT、アウトソーシングのノウハウを活用したトータルな支援を行ってきました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,350,796千円（前年同四半期比3.5%減少）、営業損失281,817千円（前年同四半期は営業損失3,788千円）、経常損失278,400千円（前年同四半期は経常損失10,312千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失535,742千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失25,847千円）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

IT&コンサルティング事業では、株式会社タイムインターメディアの大型システム開発案件において、品質トラブルによる大幅な遅れが生じていましたが、当第3四半期会計期間においてこれ以上案件を進めることが困難になったため、開発未収入金として計上していた126,981千円全額について貸倒引当金を繰り入れることとしました。バーチャレクス・コンサルティング株式会社については、予定通り推移しております。その結果売上高は2,272,263千円（前年同四半期比3.7%減少）、セグメント利益は59,508千円（前年同四半期比79.8%減少）となりました。

アウトソーシング事業では、新センター立ち上げに伴う費用や採用コスト増加などもありますが、ストックビジネスとして着実に推移しております。その結果、売上高は2,078,533千円（前年同四半期比3.2%減少）、セグメント利益は319,478千円（前年同四半期比11.8%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より413,411千円減少し、2,350,796千円となりました。これは主に、前連結会計年度末より受取手形及び売掛金が238,669千円、のれんが225,868千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末より151,004千円増加し、1,927,154千円となりました。これは主に、長期、短期含む借入金が275,080千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失535,742千円を計上したこと等により、前連結会計年度末より564,416千円減少し純資産は423,642千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年11月8日の「特別損失の計上、業績予想値と決算値との差異および業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	315,249	177,822
受取手形及び売掛金	835,324	596,655
開発事業未収入金	229,217	399,339
仕掛品	54,824	50,819
前払費用	72,475	129,025
貸倒引当金	—	△126,981
その他	35,841	80,017
流動資産合計	1,542,932	1,306,697
固定資産		
有形固定資産	96,797	112,699
無形固定資産		
ソフトウェア	136,659	123,356
ソフトウェア仮勘定	—	9,239
のれん	225,868	—
その他	37,599	3,820
無形固定資産合計	400,126	136,417
投資その他の資産		
投資有価証券	429,064	492,441
その他	295,287	302,539
投資その他の資産合計	724,351	794,981
固定資産合計	1,221,275	1,044,098
資産合計	2,764,207	2,350,796
負債の部		
流動負債		
買掛金	216,897	117,557
短期借入金	220,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	138,280	115,496
未払金	254,743	247,616
未払法人税等	43,085	10,838
賞与引当金	149,568	103,282
その他	247,508	304,521
流動負債合計	1,270,084	1,499,313
固定負債		
長期借入金	486,074	403,938
その他	19,990	23,902
固定負債合計	506,064	427,840
負債合計	1,776,149	1,927,154

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	597,861	598,251
資本剰余金	301,415	301,805
利益剰余金	105,982	△429,759
自己株式	△19,776	△49,478
株主資本合計	985,484	420,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,574	2,822
その他の包括利益累計額合計	2,574	2,822
純資産合計	988,058	423,642
負債純資産合計	2,764,207	2,350,796

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	4,507,335	4,350,796
売上原価	3,522,945	3,540,392
売上総利益	984,389	810,403
販売費及び一般管理費	988,177	1,092,221
営業損失(△)	△3,788	△281,817
営業外収益		
受取利息及び配当金	14	224
助成金収入	—	5,665
投資事業組合運用益	—	5,040
その他	751	1,231
営業外収益合計	765	12,162
営業外費用		
支払利息	2,820	4,961
支払手数料	1,024	2,163
為替差損	315	465
投資事業組合運用損	3,129	1,155
営業外費用合計	7,289	8,745
経常損失(△)	△10,312	△278,400
特別損失		
減損損失	—	225,019
特別損失合計	—	225,019
税金等調整前四半期純損失(△)	△10,312	△503,419
法人税等	15,535	32,322
四半期純損失(△)	△25,847	△535,742
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△25,847	△535,742

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△25,847	△535,742
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,067	247
その他の包括利益合計	1,067	247
四半期包括利益	△24,779	△535,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24,779	△535,494
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,359,436	2,147,898	4,507,335	4,507,335
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,359,436	2,147,898	4,507,335	4,507,335
セグメント利益	294,104	362,106	656,211	656,211

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	656,211
全社費用(注)	659,999
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△3,788

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,272,263	2,078,533	4,350,796	4,350,796
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,272,263	2,078,533	4,350,796	4,350,796
セグメント利益	59,508	319,478	378,986	378,986

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	378,986
全社費用(注)	660,804
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△281,817

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。